

怪我や治療のため一時的に片手が使えない状態にある人、麻痺や欠損等により片手が使えない身体障害者や要介護者が、トイレットペーパーを健常側の片手一本で、任意の長さで枚数で切取れるローコストで堅牢なオートフィーダーです。

本用具は、センサーに手を近づけると、ロールペーパーが自動的に送り出されて、設定された長さで1枚ごとにカットされてすぐに取り出せるように待機します。送り出されたペーパーが使用可能な枚数で重なって待機しているため、使用者はペーパーを指でつかんで軽く下方に引くだけでそのままお尻を拭くことが出来るのです。この動作は片手のみで行えるため上肢障害者等にとっては大変重宝になります。

開発者自身が入院中、腕に点滴針を刺した状態でトイレに入った際、トイレットペーパーが丸められず困ったことがありました。このように不便を感じることもなのに、病院に補助用具が設備されていないことが大いに不満でした。退院後、市販品を探してみましたが現存しないことがわかり、それならとみずから開発する決心をしたのです。

本用具を必要とする福祉環境は、①病院で通院や入院時に行う点滴、怪我の治療、骨折によるギブス固定等により一時的に左右どちらか一方の手が使えない状態にある人、②麻痺や拘縮、欠損等により左右どちらか一方の手が使えない身体障害児（者）および要支援・要介護者、などが、本用具を使うことにより、健常側の片手だけを使って、一人で簡単にトイレ内補助動作が行えるので自立支援が実現します。

さらに本用具は、操作するにあたってペーパーや用具に直接手を触れないため清潔にペーパーを手に取りることができます。ゆえに福祉環境に限らず、健常者にとっても便利な用具であり、ユニバーサルデザインとしても活用することができます。その場合、本用具が有用であるのは、一般家庭、ホテル、飲食店、オフィス、など日本国内だけでも5000万個あると云われているトイレがすべて対象となるのです。

また、本用具は、あらかじめセットされた枚数と長さで繰り出されるため、トイレットペーパーの使用量削減の一助となり、普及が進めば地球の環境保全に大いに役立つこととなります。

ソーシャルビジネスとして、企業イメージ向上にも貢献すると思われる本事業の商品化にご協力をお願い致します。

## 電動トイレトイレットペーパーホルダー

### 【仕様概要】

1. 開始方法： 近接センサーに手をかざしてスタート。
2. 設定： 枚数1～4枚、長さ18、21、24、27cm。  
(正面パネルのボタン2個で設定)
3. ペーパー交換： グリーンボタンを押して上下のフタをあける。
4. 使用ペーパー： φ120×115mmまでの芯有り（無し）
5. 電源： 電池（単三4本）ACアダプター（DC6V 2A）
6. 重量： 1kg（電池除く）
7. 取付方法： 既存の取付け孔を使用する。

